

令和4年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	7	議席 番号	12	氏名	深澤 竜介 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1	急激な少子化及び20代女性の市外への流出への対策として、女性に選択される地域づくりの提案			<p>急激な少子化の原因を探ると、20代の女性の市外への流出があると推測でき、これを解決することが、市政の大きなポイントであると考え質問を行う。</p> <p>(1) 少子化と20代女性数の減少の現状について。</p> <p>① 少子化の現状を確認するため、2000年から5年ごとの出生数はどう推移しているか伺う（2000～2004、2005～2009、2010～2014、2015～2019、2020、2021）。</p> <p>② ここ数年の20～24歳の女性の市外への流出人数はどうなっているのか。</p> <p>(2) 女性の市外流出の要因分析について。</p> <p>① 20代女性の市外への流出の原因をどう分析するか。</p> <p>② ハローワークの求人資料からの分析を行うと、事務職への求人が圧倒的に少ないことがわかるがいかがか。</p> <p>③ 男女の賃金格差、職種の格差、選択肢の少なさ及び閉鎖的な風土で女性が力を発揮できない環境等、旧来の固定観念の要因があると思われるがいかがか。</p> <p>(3) 上記の分析から、従来の製造業重視から、事務職の多い、IT系企業をはじめとする企業誘致を積極的に行う政策転換をすべきと考えるが、いかがか。</p>		市 長 副 市 長 関係部長
2	攻めの富士宮市立病院経営の提案			<p>病院事業は、各種点数を上げることで、収益増加が見込まれる。診療報酬加算取得やDPC係数上昇への取組により、医業収益を増やすことが重要であると考え質問する。</p> <p>(1) 総合入院体制加算の取得について。</p> <p>① 診療面、設備面及び人的な面での課題は何があるのか。</p> <p>② それらに対する費用はどれくらいと見込めるか。また、仮に総合入院体制加算が得られた場合の収益増加はいくらになるか。</p> <p>③ 人員増や設備投資を行い、総合入院体制加算を取得することを提案するがいかがか。</p> <p>(2) 本年4月1日時点のDPC係数の機能性評価係数Ⅱ(0.1126)の上昇について。</p> <p>① 係数を分析すると、複雑性係数及び地域医療係数が他の病院と比べて低い、その要因は何か。</p> <p>② 上記のDPC係数を上昇するための方策は何があるのか。</p> <p>③ それらに対する費用はどれくらいと見込めるか。また仮に、DPC係数が0.03上昇した場合の収益増加はどれくらいになると予測されるか。</p> <p>④ 積極的に、DPC係数上昇に向けた動きをすべきと提案するがいかがか。</p>		市 長 副 市 長 関係部長

発言 順序	7	議席 番号	12	氏名	深澤 竜介 議員	2/2
発言項目		要 旨				答弁者
3	中学校の部活動の今後について		<p>中学校の部活動の方針が大きく転換される。今後の対応について伺う。</p> <p>(1) スポーツ庁の指針についてのスケジュールはどうなっているのか。</p> <p>(2) 部活動の地域への移行に向けて、現在考えていることはあるのか。</p> <p>(3) 各スポーツ団体との打合せを早急に行うべきと考えるがいかがか。</p>			市長 副市長 教育長 関係部長